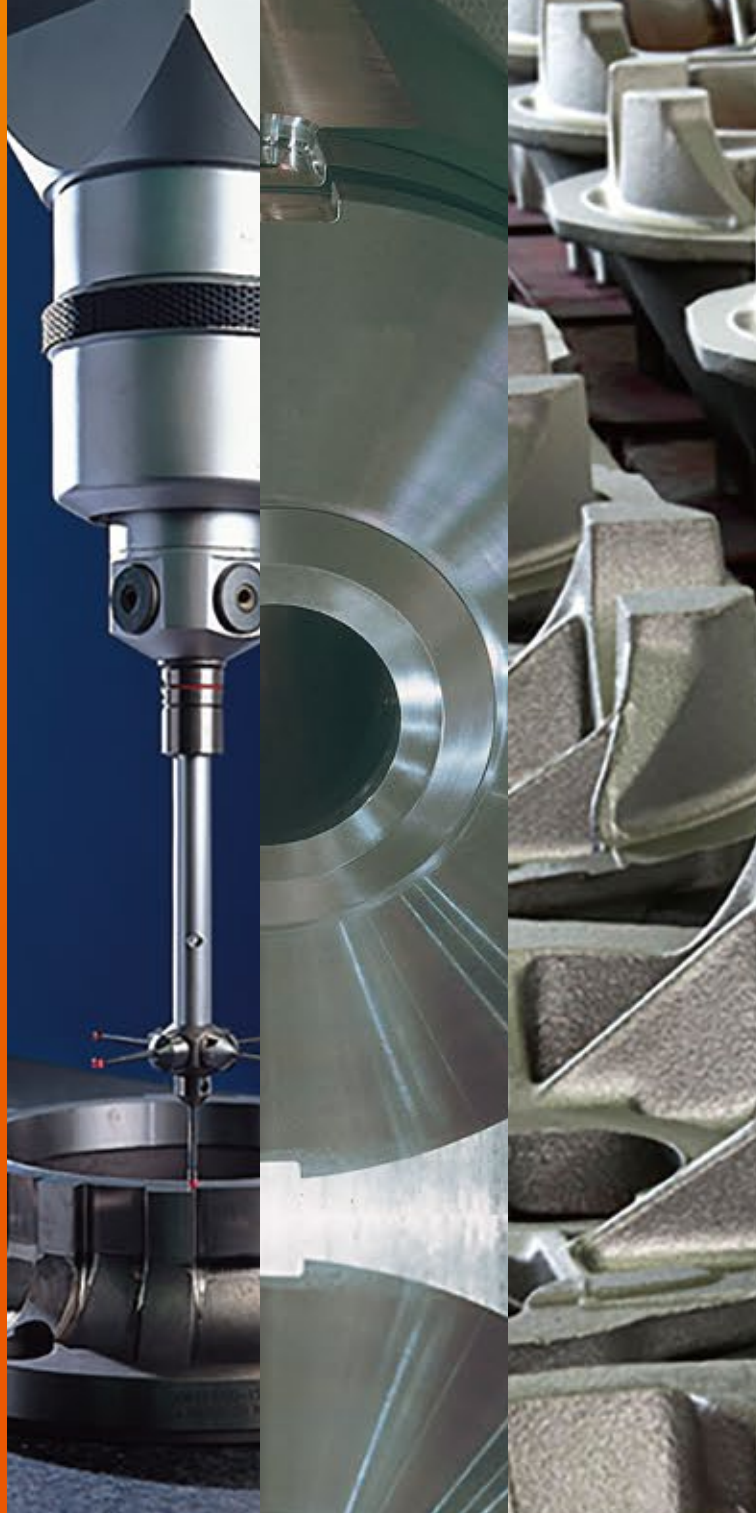


# 第93期 上半期事業報告書

2017年4月1日～2017年9月30日

BUSINESS REPORT  
for the six-month period ended september 30, 2017

証券コード:5476



## 株主の皆様へ

まずはじめに、このたび公表した当社の不適切行為により、多くの皆様に多大なご心配、ご迷惑をお掛けしておりますことを心より深くお詫び申し上げます。

この過年度における当社富山製造所での不適切行為については、お客様への説明を行った上で、お客様とともに、本不適合品を使用した製品に対する品質影響の技術的検証を完了し、製品への安全性に問題ないことを確認しております。

このような行為を発生させたことをお詫び申し上げますとともに、引き続き再発防止に取り組ん

でまいりますのでご理解のほど宜しくお願い申し上げます。

さて、第93期上半期(平成29年4月1日～平成29年9月30日まで)が終了いたしましたので、ここに当期の概況をご報告申し上げます。

当上半期における我が国経済は、輸出の持ち直しや設備投資の増加を背景に、引き続き緩やかな回復基調となりました。また、海外においても中国経済は安定し、その他の新興国においても緩やかな景気回復が続きました。

こうした中、堅調な需要を背景に、当上半期の業績

### 当社グループの業績

売上高	(前年同期比11.4%増) <b>19,758</b> 百万円
営業利益	(前年同期比208.4%増) <b>743</b> 百万円
経常利益	(前年同期比151.3%増) <b>775</b> 百万円
親会社株主に帰属する 四半期純利益	(前年同期比172.5%増) <b>621</b> 百万円
一株当たり 四半期純利益※	<b>42円37銭</b>

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。

#### 注記事項

本報告書は平成29年10月30日発表の決算短信の数値、文章を基に作成しております。その後公表される可能性がある訂正情報、業績予想の修正情報、決算の詳細につきましては金融庁EDINET、当社ホームページ「IR情報」掲載資料にてご確認ください。

代表取締役社長

河瀬 昌博



は、売上高19,758百万円(前年同期比11.4%増)、営業利益743百万円(前年同期比208.4%増)、経常利益775百万円(前年同期比151.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益621百万円(前年同期比172.5%増)となりました。

なお、当上半期の配当につきましては、より強固な経営基盤を構築するため、その実施を見送らせていただくこととしました。

今後の見通しとしましては、当社グループの需要環境は上半期に引き続き堅調に推移するものと考えております。

このような環境のもと、当社グループは昨年策定した2016~2020年度中期経営計画「CHANGE 2.0」に沿って事業体質の強化と安定した収益体質の構築に向け、引き続き取り組んでまいります。

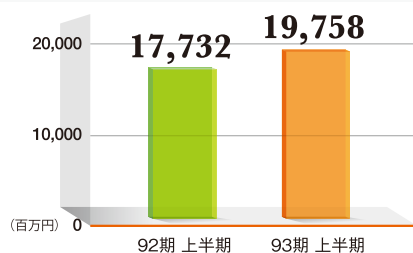
また、公表した不適切行為等を再び起こすことがないようにコンプライアンス体制を強化し、ステークホルダーからの信頼を回復するべく努めてまいります。

株主の皆様には、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

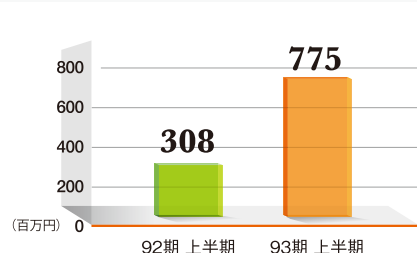
平成29年11月

## 》業績の推移(連結)

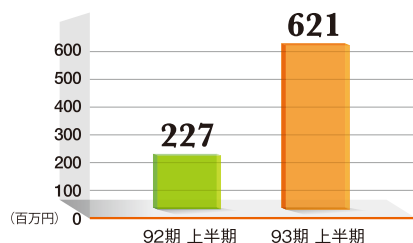
### 売上高



### 経常利益

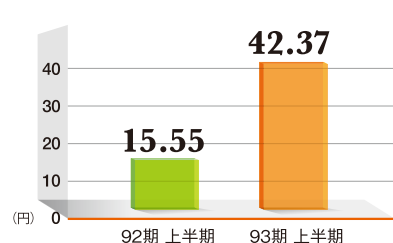


### 親会社株主に 帰属する 四半期純利益

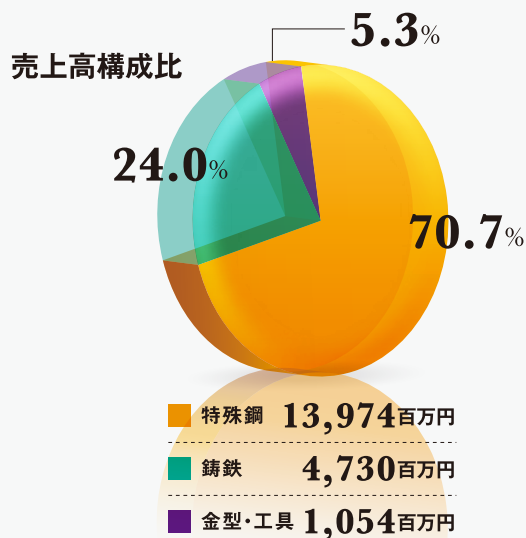


### 1株当たり 四半期純利益\*

\*当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。



## 》セグメント別概況 (第93期 上半期)



■ 特殊鋼 13,974百万円

■ 鋳鉄 4,730百万円

■ 金型・工具 1,054百万円

### ■ 鋳鉄部門

4,730百万円(24.0%)

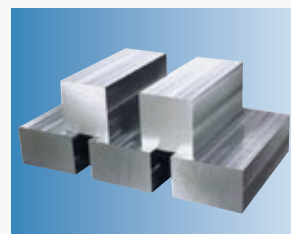
自動車、建設機械および産業機械の需要が堅調に推移したため売上数量が増加し、売上高は4,730百万円(前年同期比19.7%増)となりました。損益面では原燃料コストの上昇等の減益要因があったものの、売上数量の増加、構成の改善により、営業利益は341百万円(前年同期比25.1%増)となりました。



### ■ 特殊鋼部門

13,974百万円(70.7%)

自動車向けの需要が堅調に推移したことに加え、エネルギー向けやハードディスクドライブ向けの需要も好調であったため売上数量が増加し、売上高は13,974百万円(前年同期比10.0%増)となりました。損益面では原燃料コストの上昇等の減益要因があったものの、売上数量の増加および販売価格の改善等により、営業利益は389百万円(前年同期は92百万円の営業損失)となりました。



### ■ 金型・工具部門

1,054百万円(5.3%)

自動車向け金型需要は堅調に推移したものの、売上高は1,054百万円(前年同期比2.6%減)となりました。また、売上構成の悪化により営業利益は12百万円(前年同期比79.2%減)となりました。



## 》第93期業績予想(連結) 平成29年10月30日に発表いたしました通期の業績予想は以下の通りです。

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	一株当たり当期純利益 <sup>(注)</sup>
<b>40,100</b> 百万円	<b>1,430</b> 百万円	<b>1,500</b> 百万円	<b>1,180</b> 百万円	<b>80円50銭</b>

※連結業績予想における1株当たり当期純利益については、株式併合の影響を考慮しております。

業績予想につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいており、今後発生する状況の変化により異なる業績結果となることもありますので、投資等の判断材料として全面的に依拠されることは差し控えていただきますようお願いいたします。

## 》配当状況

当社は定款において9月30日(第2四半期末日)及び3月31日(期末日)を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定であります。

	1株当たり配当金(円)			配当金総額 (年間) (百万円)	配当性向 (連結) (%)	純資産配当率 (年間) (%)
	中間期末	期末	年間			
第93期	0.00	未定	未定	—	—	—
第92期	0.00	1.50	1.50	219	31.9	1.1

## GROUP TOPICS

### 高周波鑄造(株) 生産能力増強

高周波鑄造(株)は、旺盛な需要に対応するために、新たな設備導入を行ないました。

#### ①ショットブラスト機増設

ショットブラスト機は、鑄型から抜き取った製品の表面に焼きついた砂、研削加工後のバリなど、製品表面の異物を除去する機械で、自硬性工場では1機で生産対応しておりました。

2020年度中期計画策定時、2018年度の設置を計画しておりましたが、受注増への早急な対応が必要となり、2017年度上期に前倒して設備を増設、9月より稼働しております。



#### ②砂再生設備の更新

空洞のある鑄物製品を製造する際、空洞を形成するための「中子(なかご)」と呼ばれる砂型を製作します。砂再生設備は、一度中子として使用した砂の表面から不純物を取り除いて再利用するための設備で、この安価な再生砂に、新砂を配合して中子を製作します。

2017年度上期、リサイクル化およびコストダウンを推進するために処理能力のより高い設備に更新、8月から稼働しております。

### 高周波精密(株) 治具研削盤導入

高周波精密(株)は、2017年9月に治具研削盤を更新いたしました。

これは、非常に高い精度を要求される穴加工や輪郭加工を行なうための設備です。

高精度金型部品の受注増および、より高度化している顧客ニーズに対応し、生産性・品質のさらなる向上を図るべく導入いたしました。

同社は、これからも創業以来培ってきた精密加工技術と、それを可能とする高精度設備を用いて、お客様のご要望に対応してまいります。



## 》連結財務諸表

### 連結貸借対照表

	当上半期 (平成29年 9月30日)	前期末 (平成29年 3月31日)
<b>資産の部</b>	<b>42,163</b>	<b>40,551</b>
<b>流動資産</b>	<b>20,109</b>	<b>19,251</b>
現金及び預金	179	197
受取手形及び 売掛金	8,182	7,572
製品	2,849	2,938
仕掛品	3,934	3,643
原材料及び貯蔵品	3,456	2,964
その他	1,518	1,946
貸倒引当金	△10	△10
<b>固定資産</b>	<b>22,053</b>	<b>21,299</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>20,109</b>	<b>19,438</b>
機械装置及び 運搬具	6,304	6,321
土地	8,489	8,489
その他	5,316	4,628
<b>無形固定資産</b>	<b>88</b>	<b>79</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>1,854</b>	<b>1,782</b>
投資有価証券	1,121	1,036
その他	762	775
貸倒引当金	△30	△30
<b>資産合計</b>	<b>42,163</b>	<b>40,551</b>

(単位:百万円)

	当上半期 (平成29年 9月30日)	前期末 (平成29年 3月31日)
<b>負債の部</b>	<b>21,621</b>	<b>20,493</b>
<b>流動負債</b>	<b>15,722</b>	<b>14,697</b>
支払手形及び買掛金	4,540	4,661
電子記録債務	2,853	2,337
短期借入金	4,839	4,713
未払法人税等	132	111
賞与引当金	467	466
営業外支払手形	660	535
その他	2,229	1,872
<b>固定負債</b>	<b>5,898</b>	<b>5,795</b>
長期借入金	288	276
再評価に係る 繰延税金負債	1,783	1,783
退職給付に係る負債	3,278	3,227
その他引当金	74	68
その他	472	438
<b>純資産の部</b>	<b>20,541</b>	<b>20,058</b>
<b>株主資本</b>	<b>19,270</b>	<b>18,869</b>
資本金	15,669	15,669
資本剰余金	1,139	1,139
利益剰余金	2,498	2,097
自己株式	△37	△37
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>1,271</b>	<b>1,189</b>
その他有価証券 評価差額金	253	195
繰延ヘッジ損益	2	5
土地再評価差額金	1,360	1,360
退職給付に係る 調整累計額	△344	△371
<b>負債・純資産合計</b>	<b>42,163</b>	<b>40,551</b>

単位未満切捨て

### 連結損益計算書

(単位:百万円)

	当上半期 (平成29年4月1日から 平成29年9月30日)	前上半期 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日)
<b>売上高</b>	<b>19,758</b>	<b>17,732</b>
売上原価	16,961	15,554
<b>売上純利益</b>	<b>2,797</b>	<b>2,177</b>
販売費及び 一般管理費	2,054	1,936
<b>営業利益</b>	<b>743</b>	<b>241</b>
営業外収益	93	132
営業外費用	61	65
<b>経常利益</b>	<b>775</b>	<b>308</b>
特別利益	0	0
特別損失	81	54
<b>税金等調整前 四半期純利益</b>	<b>694</b>	<b>254</b>
法人税、住民税 及び事業税	86	8
法人税等調整額	△12	18
<b>親会社株主に帰属する 四半期純利益</b>	<b>621</b>	<b>227</b>

単位未満切捨て

### 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当上半期 (平成29年4月1日から 平成29年9月30日)	前上半期 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日)
<b>営業活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>623</b>	<b>1,238</b>
<b>投資活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>△960</b>	<b>△909</b>
<b>財務活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>△105</b>	<b>△160</b>
<b>現金及び現金同等物 の増減額(減少△)</b>	<b>△442</b>	<b>168</b>
<b>現金及び現金同等物 の期首残高</b>	<b>1,516</b>	<b>1,036</b>
<b>現金及び現金同等物 の四半期末残高</b>	<b>1,074</b>	<b>1,205</b>

単位未満切捨て

## 》会社データ(平成29年9月30日現在)

### 会社概要

会社名	日本高周波鋼業株式会社
設立	昭和25年5月18日
資本金	156億69百万円
所在地	〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-10-5 TEL 03-5687-6023(代) FAX 03-5687-6047
上場	東京証券取引所1部上場
売上高	連結 363億37百万円(平成28年度実績) 単体 229億88百万円(平成28年度実績)
従業員数	連結 1,269名 単体 570名
事業内容	高級特殊鋼および特殊合金の製造販売 各種高級特殊鋼および特殊合金の線・棒・鍛造品・加工品
主要取引銀行	みずほ、三井住友、三菱東京UFJ、 みずほ信託、三菱UFJ信託、富山第一

### 役員

代表取締役社長	河瀬 昌博
代表取締役専務	久留島 靖章
常務取締役	山名 壽
常務取締役	湖東 彰弘
常務取締役	堂野 和洋
取締役	中尾 大輔
取締役	堀川 健一
取締役	定村 剛
取締役	山地 敏行
取締役	丹羽 範光
取締役	宮島 哲也
監査役	古瀬 司
監査役	中條 芳治
監査役	小松 伯正
監査役	松本 博明

(注) 1. 丹羽 範光、宮島 哲也の両氏は社外取締役であります。  
2. 小松 伯正、松本 博明の両氏は社外監査役であります。

## 》株式データ(平成29年9月30日現在)

### 株式の状況\*

発行可能株式総数 240,000,000株  
発行済株式の総数 146,876,174株(うち自己株式数300,768株)

株主数 10,876名

※当社は、平成29年10月1日を効力発生日として、10株を1株に併合する株式併合を実施したため、発行可能株式総数は24,000,000株、発行済株式総数は14,687,617株となっております。

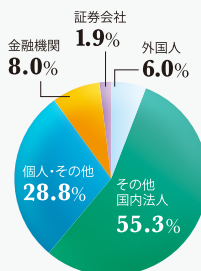
### ●大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社神戸製鋼所	75,753	51.68
浅井産業株式会社	2,712	1.85
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,209	1.51
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,012	1.37
日本証券金融株式会社	1,850	1.26
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	1,415	0.97
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	1,308	0.89
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	1,111	0.76
豊田通商株式会社	1,100	0.75
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口2)	1,080	0.74

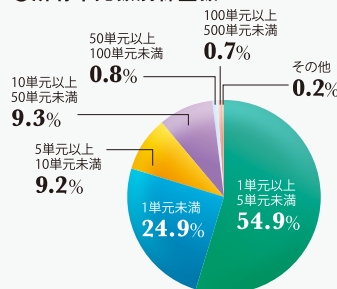
(注)持株比率は自己株式(300千株)を控除して計算をしております。

### 株式分布状況

#### ●所有者別株式数



#### ●所有単元数別株主数



### 株式併合に関するご案内

本年10月1日、当社株式について10株を1株に併合するとともに単元株式数を1,000株から100株に変更しました。株式併合の結果生じた「1株に満たない端数(端数株式)」につきましては、法令に基づき、その全てを当社が一括処分し、その代金を端数株式所有者の所有割合に応じてお支払いします(お支払い開始は12月上旬の予定です)。

## 日本高周波鋼業株式会社

### 本社

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-10-5 TMMビル8階  
TEL 03-5687-6023(代) FAX 03-5687-6047

### 大阪支店

〒530-0022 大阪府大阪市北区浪花町12-24 赤坂天六ビル7階  
TEL 06-4802-1480(代) FAX 06-4802-1481

### 名古屋支店

〒489-0071 愛知県瀬戸市暁町9 株式会社カムス 中部テクノセンター内  
TEL0561-86-9005 FAX0561-86-9008

### Bangkok Liaison Office

39/9 Rama 3Rd.,Chongnonsee ,Yannawa,Bangkok  
10120 ,Thailand  
TEL 66-2294-9258 FAX 66-2294-9260

### 富山製造所

〒934-8502 富山県射水市八幡町3-10-15  
TEL 0766-84-3181(代) FAX 0766-84-3468

## グループ会社

### 高周波鑄造株式会社

〒031-0071 青森県八戸市沼館4-7-108  
TEL 0178-43-0127 FAX 0178-22-2468

### 高周波精密株式会社

〒272-0003 千葉県市川市東浜1-1  
TEL 047-328-3201 FAX 047-328-6797

### 株式会社カムス

〒373-0014 群馬県太田市植木野町328  
TEL 0276-40-5005 FAX 0276-40-5008

### エヌケイ精工株式会社

〒934-0025 富山県射水市八幡町3-10-15  
TEL 0766-84-3175 FAX 0766-84-3137

### 麦卡発商貿(上海)有限公司

上海市徐匯区肇嘉浜路777号 青松城大酒店10階1004号  
TEL 86-21-6443-5061 / 5062 FAX 86-21-6443-5066

### 株式会社東北コアセンター

〒031-0071 青森県八戸市沼館4-7-108 高周波鑄造内  
TEL 0178-46-1856 FAX 0178-43-0153

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から3月31日まで

定時株主総会 毎年6月中に開催

株主名簿管理人 〒103-8670 東京都中央区八重洲1-2-1  
事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社本店証券代行部

1単元の株式数 100株

公告方法 電子公告により行います。  
公告掲載URL ▶ <http://www.koshuha.co.jp>  
ただし、やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

## ●郵便物送付先・電話お問合わせ先・お取扱店

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話 お問合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配 当金受取り方法の 変更等)	お取引の証券会社等 になります。	みずほ証券 本店および全国各支店 プラスチック(みずほ銀行内の 店舗)でもお取扱いたします
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行※およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります) ※トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。	みずほ信託銀行 本店および全国各支店※ ※トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

当社のホームページでも詳しい情報を同時に開示しております。

ぜひ併せてご覧ください。

<http://www.koshuha.co.jp>

日本高周波 |

検索

